



野菜や山菜は、安く仕入れることができているそうです。お裾分けをしてくれる優しい人もいます。

取材中にも、たくさんのお客さんが来ていて、三石屋の人気を再確認しました。



取材の後に、ジュースをいただきました。さりげない優しさで、喉も心も潤いました。

まち湯

三石屋



こんにゃくをすり潰す機械と間違えて、餅をつく機械を買ってきたことが三石屋の始まりだそうです。パンのおいしさの秘密は「只見のおいしい水」だそうです。

水害の時に、温泉を汲み上げる機械が壊されてしまったり、水が窓の所まできたりして、大変つらい思いをしたそうです。

水害の影響で、冷蔵庫と冷凍庫が水没して壊れてしまったそうです。復興するのは大変でしたが、周りの方々の手助けにより、今も三石屋を続けられているそうです。

